

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ - 51 -

2014.1.22

図書感想など

- 角元弥子さんより

お借りしていました「GIOIELLI D'ASIA」と「A World of Head Ornaments」の2冊を本日返送いたしました。

2冊で4kgと重量級で、寄贈なされた竹森様に感謝しつつ、楽しませていただきました。これから借りるの方のために簡単に内容と感想をお送りします。

いずれもベルギーの Colette Ghysels とその夫で彫刻家の Jean-Pierre Ghysels 夫妻のコレクションの本でした。

写真のカラーページがメインのハードカバー本です。

「GIOIELLI D'ASIA」

アラビア半島から日本まで、アジア全域の装身具が網羅されています。
素材は金属全般から象牙、べっ甲、貝など有機素材まで、多岐に渡ります。

本の構成は

- ・サマリー
- ・カラー写真
- ・写真のキャプション（地域、素材、サイズ、コメント）
- ・地図

となっており、キャプションにあるコメントが固すぎず良かったです。

ちなみに日本のものは帯留と櫛、根付が掲載されており、キャプションには「日本は、ジュエリーよりも着るもののほうが良いという、珍しい国のひとつ」とあります。
これは世界の定説なのでしょうか？

「A World of Head Ornaments」

本の基本構成は「GIOIELLI...」と同じで、こちらもさらに素材が多岐に渡るのでカラー写真が美しく、大変見応えがあります。

地域はアフリカ、アジア、オセアニア、アメリカとなっていますが、半分強をアジアのものが占めています。

ヘッドオーナメント全般ということで、櫛・かんざし以外のさまざまな形状がありますので、露木先生の『神々の宿る銀』のように、着用の絵や写真が少しでもあるとさらに分かりやすいなと思いました。

最後に、こちら二冊とも、カバーしている地域が幅広いですので、『神々の宿る銀』と地域を合わせながら見てゆくのがお勧めです。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

このメールアドレス(j-bunka@jj-craft.com)には返信できません。

返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com

幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com